

ネクストジェネレーションに向けたインターネット アーキテクチャ論文特集の発行にあたって

ネクストジェネレーションに向けたインターネットアーキテクチャ
論文特集編集委員会

委員長 山崎 克之



インターネットは既に人々の産業及び生活活動の基盤として機能するようになり、生活及び社会のあらゆる分野に大きな影響を及ぼしている。更に、ネクストジェネレーションに向けてVoIPやビデオなど従来のモデルやトラフィックとは異なる応用への的確な解析・制御手法の研究開発が求められている。一方、依然として安心・安全な社会基盤への脅威であるDDOSやSPAM, Phishingなどインターネットの負の側面への対処も早急の研究開発課題である。

以上の状況にかんがみ、本特集では、「インターネットアーキテクチャ」すなわちインターネットの基本設計や設計思想につながる基盤技術、運用技術、更には新しい技術の展開（development）に関する論文を特集として扱っている。インターネットの構成要素を狭い専門領域で議論するという要素還元主義にとらわれることなく、世界規模で現に生きているインターネットを対象として新たなアイデア・手法・技術・システムを提案する、というアプローチにのっとった論文を扱っている。

数多くの投稿論文が寄せられ、これらに対して厳正な査読を行った結果、ワイヤレスモバイルセンサネットワーク、ネットワークの制御と品質、ネットワークとアプリケーションなどにかかわる計8編の論文と1編のレターが採択された。また、国内で最も広範囲に利活用されている新学術情報ネットワーク（SINET3）

について、各種サービスを統合ネットワーク上で柔軟かつ安定的に提供するための手法などを招待論文として寄稿頂いた。

本特集で採択された各論文のテーマは、インターネットの数多くある側面のうちのいくつかをそれぞれの切り口からとらえたものにすぎないが、いずれも新しいサービスを提供するためのネットワークとシステムの設計そのものにかかわる点で特集号のテーマにふさわしく、全体として「インターネットアーキテクチャ」という考え方の浸透と新しい時代における研究の進展をうかがわせるものになったと思われる。

末筆になるが、最新の成果を反映した原稿を御執筆頂いた論文の著者の皆様、御多忙の中精査下さった査読委員の皆様、企画について御助言下さり査読についても御尽力頂いた編集委員各位、並びに予定どりの発行のために大変御努力頂いた事務局の方々に深謝する。

ヤマザキ カツユキ
山崎 克之（正員） 1980電通大・通信卒。工博。KDD（現KDDI）(株)においてNo. 7, ISDN, ATM, IP, モバイル, ユビキタスなど情報通信ネットワーク及びマルチメディア通信応用の研究開発・実用化と国際標準化に従事。情報通信ネットワークにかかわる多くの産学官連携プロジェクトを遂行。2005～2006九州工業大学情報工学部客員教授。(株)KDDI研究所研究戦略室長を経て2006から長岡技術科学大学教授。

ネクストジェネレーションに向けたインターネットアーキテクチャ論文特集編集委員会

委員長 山崎 克之
幹事 朝香 卓也・岡部 寿男
委員 新 善文・内田 真人・北辻 佳憲・地引 昌弘
丹 康雄・寺岡 文男・樋地 正浩・峰野 博史